

イザヤの生涯のおもな出来事

前七四〇年の少し前 イザヤの召命。  
 前七四〇年 ウジヤ王の死んだ年、イザヤの再召命(六章)。ヨタムの即位。  
 イザヤの長男「ツニアル・ヤシュブ」生れる。

前七三五年 ヨタムの死、アハズの即位。  
 前七三四年 アラム(シリヤ)、イスラエル連合軍のニダ侵入、インマヌエル預言(七章)。  
 この頃、イザヤの次男「マヘル・シャラル・ハシュ・バズ」生れる(八章)。アッシリヤのティグラテ・ピレセル、イスラエルの北部占領、ギルアデ、メギド、ドルの三州として属領に編入される(九)。

前七三二年 北イスラエルの王ヘカ、ホセアに暗殺され、ホセアが王となる。ティグラテ・ピレセルにより、ダマスコ陥落、レツイン殺される。

前七二四年 イスラエルの王ホセア、アッシリヤに謀反、シャルマヌエセルの捕虜となる。

前七二三年 シャルマヌエセルの死、サルゴンの即位。  
 三年の包囲の後、サマリヤ陥落。  
 前七一五年 アハズの死、ヒゼキヤの即位。宗教改革。  
 前七二二/一年 サルゴンにより、アシュドデ滅ぼされる。イザヤ三年間潔となる(二〇章)。  
 ヒゼキヤの病氣と、イザヤの祈りによるいやし(三八章)。メロダク・パルアダンの見舞(三九章)。セナケリブの侵略と無条件降伏(イザ三六章、Ⅰ列一八、一三、一六)。  
 セナケリブの再度の侵入。ティルハカの侵攻によるアッシリヤ軍の撤退と奇蹟的な救い(イザ三六、二一、三七、三六)。  
 ヒゼキヤの死、その子マナセの即位。  
 セナケリブ暗殺される。



